

科目名	イベントプランニング演習											
科目名(英)												
単位数	2単位			時間数		30時間		担当者		畑迫二郎		
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		ホテルにおいてレストラン業 務・宴会業務担当		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年											
授業概要	模擬結婚式・披露宴に向けてセレモニーや進行に合わせた演出全体のプランニングを行う											
授業形式	講義：△			演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				結婚式を行うにあたり必要な準備物やプログラムを準備・考案できる						
	○	○				テーマに沿った演出などのアイデアを出すことができる						
				○		議論の場では積極的に意見を述べ、また他者の意見を聞きながらまとめることができる						
				○		役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる						
テキスト・教材 参考図書	なし											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	制作物完成							事前に完成予想図を作成			
	2	招待状作成							校正をしっかりとこなう			
	3	招待客決め							各個人リストアップ			
	4	進行・BGM決め(音源の確認)										
	5	1年2年合同打ち合わせ(役割再確認)							1年生にわかりやすい資料制作			
	6	会場見学・打ち合わせ(テーブルレイアウトの確認・設備確認)							質問事項をまとめる			
	7	テーブルコーディネート・ブーケ検討(色・形・デザイン)							テーマを意識し事前に自分の意見をまとめる			
	8	招待状発送準備(細かなマナー礼儀を学び実践する)							郵送・手渡しの振り分けを各個人考えてくる			
	9	進行確認(演出・映像・必要物の確認)							自分の役割を確認			
	10	司会者原稿作成(昨年度を参考に進行に合わせた内容で考える)							忌み言葉など予習			
	11	進行の流れ確認(各個人の動き・役割の確認)							なし			
	12	席次表完成(上座・下座を意識する)							出席・欠席の再確認			
	13	司会者原稿完成(完成後はアナウンス力を高める)							なし			
	14	進行に沿った動き確認(問題点をみつけ・改善)							各自問題点・不安点をまとめる			
	15	当日持ち込み物、手配物の最終確認							最終確認			
評価方法	主に演習授業となる為、以下の観点で評価する。 (1)授業への取り組み状況(アイデアの提案状況、担当制作物の作成状況、進捗管理) (2)意欲・努力 (3)報告・連絡・相談の状況 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	授業への取り組み状況	○		◎				○				100%
	意欲・努力							◎				
	報告・連絡・相談	○		○				◎				
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。											

科目名	テーブルコーディネート演習						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	畑迫二郎
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	ホテルにおいて レストラン業務担当
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	2年間の集大成として2月に行われる模擬結婚式を成功させるための準備を行う。1年次で学んだブライダルの知識を活かし、テーマに沿ったテーブルコーディネートやフラワーコーディネート、テーブルセッティングを学びながら実践する。						
授業形式	講義：	△	演習：	○	実習：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				テーマに沿ったアイテムや演出などのアイデアを出すことができる	
	○	○				カラーコーディネートの知識を生かし、会場トータルコーディネートを考える事が出来る	
	○	○				自分の役割の提案を他社にわかりやすく丁寧にプレゼンテーションが出来る	
				○		議論の場では積極的に意見を述べ、また他者の意見を聞きながらまとめることができる	
		○		○		予算・コストを意識し、計画的に実行できる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	制作物完成					事前に完成予想図を作成
	2	招待状作成					校正をしっかりとこなう
	3	招待客決め(名簿の作成)					各個人リストアップ
	4	進行・BGM決め					
	5	1年2年合同打ち合わせ					1年生にわかりやすい資料制作
	6	会場見学・打ち合わせ(先方担当者挨拶・今後のやり取りについて)					質問事項をまとめる
	7	テーブルコーディネート・ブーケ検討(外部講師に相談)					テーマを意識し事前に自分の意見をまとめてくる
	8	招待状発送準備(切手の購入)					郵送・手渡しの振り分けを各個人考えてくる
	9	進行確認					自分の役割を確認
	10	司会者原稿作成					忌み言葉など予習
	11	進行の流れ確認					なし
	12	席次表完成(デザイン・用紙の質・枚数)					出席・欠席の再確認
	13	司会者原稿完成					なし
	14	進行に沿った動き確認					各自問題点・不安点をまとめる
	15	当日持ち込み物、手配物の最終確認					最終確認
評価方法	主に演習授業となる為、以下の観点で評価する。 (1)授業への取り組み状況(アイデアの提案状況、担当制作物の作成状況、進捗管理) (2)意欲・努力 (3)報告・連絡・相談の状況 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への取り組み状況	○	◎		◎		100%
	意欲・努力				◎		
	報告・連絡・相談		○		◎		
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。						

科目名	実用英語 I、Ⅱ-②											
科目名(英)												
単位数	4単位			時間数		60		担当者		波多野 里美		
実施年度	2019年度			実施時期		前期		実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年											
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組まますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組まます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。											
授業形式	講義： ○			演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○				英検準2級の合格を目指す。						
		○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。						
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。						
		○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。						
		○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。						
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	リスニング・短文の語句空所補充							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	リスニング・短文の語句空所補充							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	3	リスニング・短文の語句空所補充							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	4	リスニング・短文の語句空所補充							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。			
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。			
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。			
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文							授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。			
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト							授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。			
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。			
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文							授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。			

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語Ⅰ、Ⅱ－②						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
		○					
	○						
	○						
	○						
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	2	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	3	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	4	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	5	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	6	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	7	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	8	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	9	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	10	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	11	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	12	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	13	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	14	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
	15	Listening , Reading			Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
	発表・作品						
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I ー②											
科目名(英)	Practical English I ー②											
単位数	4単位			時間数		60時間		担当者		津田 徳子		
実施年度	2019年度			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年											
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。											
授業形式	講義: ○			演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					英語検定2級レベルの語彙(4,000～5,000語)の意味を理解できる。						
	○					まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。						
	○					日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。						
		○				日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。						
	○	○				日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。						
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook											
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示			
	1	プレースメントテスト										
	2	プレースメントテスト										
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)										
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習			
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習			
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング							教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと			
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング							総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと			
	18	総合問題(英作文)、リスニング							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習			
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)										
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)										
	26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)							不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと			

	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	30	実践問題、定期試験(50分間)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
	授業前課題				○		5%
履修上の注意	・授業前課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。						

科目名	実用英語 I II ②				
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年				
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
	○				
		○			
		○			
		○			
テキスト・教材 参考図書	・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級				
授業計画授業 計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOC			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	12	8日目: 英作文問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	13	8日目: 英作文問題① 問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること

	23	演習：リスニング特訓②	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	24	15日目：【応用】長文の語句空所補充問題を攻略！②-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	25	15日目：【応用】長文の語句空所補充問題を攻略！②-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	26	演習：リスニング特訓③	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	27	16日目：【応用】長文の内容一致選択問題を攻略！③-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	28	17日目：【応用】長文の内容一致選択問題を攻略！③-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	29	演習：リスニング特訓④	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	30	前期定期試験（筆記）	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、英語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨						

科目名	実用英語Ⅰ,Ⅱ－②										
科目名(英)											
単位数	3単位			時間数	60時間		担当者	内丸 誌帆			
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年										
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、業務に必要な最低限度の英語力を身につける。 英検3級合格を目標とする。										
授業形式	講義： ○		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○					会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。					
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる					
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる					
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる順パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600／Baton Pass										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	実用英語1 英作文問題① / リスニング									
	2	実用英語2 英作文問題① / リスニング									
	3	実用英語3 英作文問題② / リスニング									
	4	実用英語4 英作文問題② / リスニング									
	5	実用英語5 リスニング第1部									
	6	実用英語6 リスニング第2部									
	7	実用英語7 リスニング第3部									
	8	実用英語8 リスニング第1部									
	9	実用英語9 リスニング第1部									
	10	実用英語10 リスニング第2部									
	11	実用英語11 リスニング第3部									
	12	実用英語12 読解問題 提示 / リスニング									
	13	実用英語13 読解問題 e-mail / リスニング									
	14	実用英語14 読解問題 手紙文 / リスニング									
	15	実用英語15 読解問題 説明文 / リスニング									
	16	実用英語16 過去問演習									
	17	実用英語17 過去問演習									
	18	実用英語18 過去問演習									
	19	実用英語19 過去問演習									
	20	実用英語20 過去問演習									
	21	実用英語21 過去問演習									
	22	実用英語22 過去問演習									
	23	実用英語23 過去問演習									
	24	実用英語24 過去問演習									
	25	実用英語25 過去問演習									

	26	実用英語26 過去問演習					
	27	実用英語27 過去問演習					
	28	実用英語28 過去問演習					
	29	実用英語29 過去問演習					
	30	実用英語30 総まとめテスト					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート		○				20%
	態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	実用英語補講Ⅰ・Ⅱ											
科目名(英)	Practical English (supplementary)Ⅰ・Ⅱ											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		深川信子			
実施年度	2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年											
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。											
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
		○				文法：基本文法を理解する事ができる						
	○					語彙：TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる						
		○				リスニング：様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる						
		○				リーディング：ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる						
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	2	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	3	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	4	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	5	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	6	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	7	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	8	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	9	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	10	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	11	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	12	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	13	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	14	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
	15	Listening, Reading					Readingの該当箇所を解いておくこと					
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								50%
	小テスト	◎										25%
	宿題・レポート	◎		○				○				25%
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習											

科目名	実用英語補講ⅠⅡ							
科目名(英)	Practical English (Make-up classes)Ⅰ							
単位数	2		時間数	15		担当者	津田 徳子	
実施年度	2019		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年							
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力と高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とのコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く力を実践的に修得する。英語検定のための、受験指導を含む。							
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					語彙:英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる		
		○				読解:基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる		
		○				リスニング:様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる		
		○				英作文:基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる		
テキスト・教材 参考図書	・英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版]・2019年度版英検2級過去6回全問題集 ・でる順パス単 英検2級							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業項目・内容		授業外学修指示
	1	2019年度第1回問題 解答						
	2	2019年度第1回問題 解答解説(2級の概要と内容把握。各自弱点の把握)						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	3	分野別対策(語彙・イディオム、リスニング第1部)						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	4	分野別対策(語彙・文法:分詞、リスニング第2部)						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	5	分野別対策(語彙・イディオム・文法)指定時間内で解答練習 リスニング弱点部分の強化						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	6	分野別対策(短文の空所補充、リスニング)						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	7	分野別対策(E-mailの読み方と読解、リスニング)						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	8	分野別対策(長文読解、リードと主題について、リスニング) ⇒実用英語Ⅰ・Ⅱ②へ続く						教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく
	9	実践問題(2018年度第1回)						
	10	実践問題(2018年度第1回)解答解説、						2018年度第1回不正解問題の再解答
	11	実践問題(2018年度第2回)						2018年度第2回不正解問題の再解答
	12	実践問題(2018年度第2回)解答解説						2018年度第2回における語彙、文法の復習
	13	実践問題(2018年度第3回)						2018年度第3回不正解問題の再解答
	14	実践問題(2018年度 第3回)						2018年度第3回における語彙、文法の復習
	15	学期末試験(50分間)、受験上の注意点と総まとめ						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				50%	
	確認テスト	○	○		○		25%	
	宿題	○			○		20%	
	授業前課題				○		5%	

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)筆記具、ノートを持参すること。アプリ辞書機能は使用不可。 					

科目名	実用英語補講ⅠⅡ								
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年								
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる			
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる			
		○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる			
		○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる			
テキスト・教材 参考図書	・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級								
授業計画	回数図数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題①＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	2	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題①＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	3	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題①＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	4	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題②＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	5	英作文・リスニング演習①				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	6	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題②＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	7	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題②＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	8	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題③＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	9	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題④＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	10	英作文・リスニング演習②				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	11	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題③＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	12	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題③＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	13	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題⑤＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	14	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題⑥＋過去問演習				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
	15	英作文・リスニング演習③				テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、単語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	◎				50%		
	小テスト	◎	○		○		25%		
	宿題・朝自習課題	◎	○		○		25%		
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨								

科目名	実用英語補講 I、II				
科目名(英)					
単位数	2単位	時間数	30	担当者	波多野 里美
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年				
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組めますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。				
授業形式	講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他
		○			
		○			
		○			
		○			
		○			
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				

	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		
		言語情報	知的技能
	定期試験		○
	小テスト		○
	検定取得		○
	朝課題・宿題・授業態度		
履修上の注意	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		
	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。		

科目名	実用英語 補講Ⅰ、Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		内丸 誌帆			
実施年度	2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○			
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年											
授業概要	英検3級の実力を想定し、さらに実践レベルでの使い方を学ぶ											
授業形式	講義: ○		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標						
	○					会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。						
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる						
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる						
テキスト・教材 参考図書	啓隆社 英作基本文例600／Baton Pass											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	実用英語1 補講 文型										
	2	実用英語2 補講 時制の基本										
	3	実用英語3 補講 完了形										
	4	実用英語4 補講 疑問文										
	5	実用英語5 補講 命令文										
	6	実用英語6 補講 助動詞										
	7	実用英語7 補講 受動態										
	8	実用英語8 補講 否定表現										
	9	実用英語9 補講 不定詞										
	10	実用英語10 補講 動名詞										
	11	実用英語11 補講 分詞										
	12	実用英語12 補講 比較										
	13	実用英語13 補講 関係詞										
	14	実用英語14 補講 接続詞										
	15	実用英語15 補講 まとめ・テスト										
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	○		○								50%
	小テスト	○		○								20%
	宿題・レポート			○								20%
	態度							○				10%
履修上の注意												

科目名	色彩・配色					
科目名(英)	color co-ordinate					
単位数	前期3・後期1	時間数	前期23+補5・後期8	担当者	野正 真紀	
実施年度	2019年度	実施時期	前期・後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年					
授業概要	パーソナルカラーの基礎と診断スキルの習得を通して自分に似合う色を知り、社会人・職業人としての自己表現力、コミュニケーション力を高め、自分を磨く。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○		○		日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」合格
		○		○		パーソナルカラー診断実習を通して自分の魅力を引き出せる色を知る
		○		○		配色演習を通して、カラーセンスを養う
	○	○		○		色の視覚的效果や心理的影響を知り、ビジネスシーンに役立てる
テキスト・教材 参考図書	色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級 色彩活用パーソナルカラー検定 3級・2級 公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1~3	色の基本にフックー色の分類と三属性			※進行に付した教科書・	
	4	トーンにフックートーンの分類			問題集・配布プリントの	
	5	「色彩活用」としてのパーソナルカラーー「P.L.I.」とは			予習・復習をしておくこと	
	6~8	パーソナルカラーの基本ーパーソナルカラーの4つのグループ				
	9~12	色のイメージを豊かにするー4タイプのカラーパレットとイメージ			※カラーカードを使った演習・	
	13~14	「似合う色」の基準を知るーおて生おいた色素と似合う色			ビジュアルカラーシミュレーション	
	15~16	「似合う色」を客観的に判断ー色の対比・光の反射・吸収			イメージボード等は	
	17~18	ドレピング方法ー準備と環境 似合う色とは			授業時間内に完成	
	19~20	"ードレピング実習			できなかった場合は	
	21~22	「似合う色」を取り入れるー4タイプの色の取り入れ方			宿題となる	
	23~24	"ー「P.L.I.」を活かした自分ブランディング				
	25~27	検定直前総復習ー過去問題解答と解説				
	28	デジタルにおけるパーソナルカラーーブライダルシアターのカラーコーディネート				
	29~34	自分ブランディングー自分のパーソナルカラーシグンのイメージボード作成				
	35~36	総まとめーイメージボード発表・講評会				
評価方法	(1) 日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」受検 合格結果 (2) ホイスト(色彩石確認テスト全10問)実施 (3) ビジュアルカラーシミュレーション・イメージボード発表・講評会					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他 (色感)
	定期試験(検定)	○	○		○	○
	小テスト	○	○		○	○
	宿題・レポート	○	○		○	○
	発表・作品	○	○		○	○
※ 成績評価基準は		S	A	B	C	D
		(90点以上)	(80点以上)	(70点以上)	(60点以上)	(59点以下)
履修上の注意	その他の教材 カラーカード 24色色鉛筆 カッティングマット ペーパーボード スチール定規 カラー A4クリアファイル					

科目名	ABC検定対策							
科目名(英)								
単位数	3単位		時間数		45時間		担当者	井上 ゆかり
実施年度	2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年							
授業概要	従来のABC検定に代わり、2018年7月に「ブライダルコーディネート技能検定」という国家検定の実施が決定しました。検定取得を目標にブライダルコーディネートに必要な知識・技能・実践力を理解し、お客様のブライダルに対するニーズの聞き取りや既存サービス・商品等を組み合わせたブライダルの提案が出来るブライダルコーディネーターを目指します。							
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技： △	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				ブライダルコーディネートに必要な知識を理解し説明することができる		
	○	○				お客様のニーズを聞き取ることができ、そのニーズに合ったサービスや商品を提案できる		
	○			○		接客の際に適した言葉遣いや所作・振る舞いができる		
	○			○		ブライダルコーディネートとして親しみやすい表情で接客ができる		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>、ブライダル用語辞典、配布プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	導入・確認テスト(現状の理解度の確認)・解説					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	ブライダルコーディネーターとは・結婚の定義・日本の結婚式の歴史と文化					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	復習ミニテスト・欧米の結婚式の歴史と文化					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	復習ミニテスト・欧米の結婚式の歴史と文化・(指輪とキリスト教)					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	復習ミニテスト・欧米の結婚式の歴史と文化・(各国・各宗教)・ブライダルビジネス					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	復習ミニテスト・ブライダル規模及び特性・業種					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	ブライダル規模及び特性・業種・2012年度過去問題・解答、解説					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	復習ミニテスト・2013年度過去問題・解答、解説					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9	見合いと婚約、結納・婚約式					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	復習ミニテスト・ブライダル準備・衣装選定(洋装)					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	復習ミニテスト・衣装選定(和装)					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	12	復習ミニテスト・2014年過去問題・解答、解説					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	2015年度過去問と解説						
	14	コーディネーター業務とは・新規業務					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	ブライダルセールスの特徴・営業、プランニング、プレゼンテーション・成約業務					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	打合せ業務					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	ブライダルアイテムの選定					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	当日の役割					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	復習ミニテスト・2016年過去問題・解答、解説					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	実技問題練習(演技)						
	21	検定模擬試験						
	22	検定模擬試験						
	23	定期試験						
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)授業態度は積極的な発言・質問、意欲・努力は指示内容の取り組み方にて評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験		◎				50%	
	小テスト		◎				40%	
	授業態度・意欲				◎		10%	
履修上の注意								

科目名	HRS(実技試験対策)						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	8時間		担当者	山本 幸子
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年						
授業概要	10月30日に実施される「レストランサービス技能検定試験(実技)」の合格を目指し、サービスの基礎知識、接客の基本、トラブル時の対応等を学ぶ。衛生観念を持ち、ホスピタリティの表現、販売促進など、プロの料飲サービススタッフとして必要な知識を身につける						
授業形式	講義:		演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				検定合格できるレベルのレストランサービス知識を身につける	
				○		検定合格できるレベルのホスピタリティサービス技術を身につける	
		○				常に衛生観念を意識したサービスを実践できるようにする	
				○		検定合格に向け、仲間と協力しながら積極的に行動する	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	レストランサービス技能検定試験(実技)の概要 テスト内容の確認				実習着、スーツを着用してください	
	2	課題に添ったサービス ～チェックポイントをクリアしよう～				実習着、スーツを着用してください	
	3	課題に添ったサービス ～衛生観念 それ、アウトかも～				実習着、スーツを着用してください	
	4	課題に添ったサービス ～チェックリスト80点以内で8分～				実習着、スーツを着用してください	
	5	課題に添ったサービス ～失敗しても立て直す～				実習着、スーツを着用してください	
	6	課題に添ったサービス ～7分半を切ってみよう～				実習着、スーツを着用してください	
	7	課題に添った料理を準備 ～先生をおもてなする準備をしよう～				実習着、スーツを着用してください	
	8	課題に添ったサービス ～先生をおもてなし～				実習着、スーツを着用してください	
評価方法	実技テストの課題と同じ内容のテストを実施する 下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題の実技		◎	◎	○		80%
	授業態度・服装				◎		20%
履修上の注意	髪・手指の爪・実習着は実技試験を受験する際と同じレベルで授業に参加すること						

科目名	ソムリエ									
科目名(英)	sommelier									
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	寺井 剛史			
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年生									
授業概要	ホテル、ブライダル業界で働くにあたって必要となる最低限のワインの知識を身につけることを目的とする。 ただし、技術、知識は大事だが、それ以上に、お客様を尊重し、またワインを尊重する心構えを身につけてもらい、最も大事なことは、仕事をする上での自分の取り組み方だということを伝える。									
授業形式	講義： ○		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○	○			仕事をする上での自分の取り組み方の大切さを知り、実践することができる				
	○	○	○			お客様とワインを尊重する心構えを身につけ、好みに合ったワインをお勧めすることができる				
	○	○				必要最低限のワインの知識の習得をし説明することができる				
テキスト・教材 参考図書	配布プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション								
	2	ワイン概論・テイस्टینگについて								
	3	ワイン概論2・ワインの保管、管理								
	4	フランスワイン、ドイツワイン								
	5	スパークリングワイン								
	6	ボージョレ・ヌーヴォー								
	7	レストランでのお客様のワイン注文方法とワインサービスの手順 ワインに使う道具								
	8	筆記・実技試験								
評価方法	(1)定期試験(筆記・実技)を実施する。(2)授業態度は積極的な発言・質問で評価、意欲は指示内容の取り組み方にて評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	○		◎	○			50%		
	授業態度・意欲					◎		50%		
履修上の注意	社会に出ると苦しいこともたくさんあります。でも、皆さんも部活などで経験したことがあるかもしれませんが、楽(らく)なことは、実は意外と楽しくなく、苦しいことを乗り越えて得られる達成感により、本当の楽しさを得られるのではないかと思います。ぜひ、皆さんには、残りの在学中に、何かに「本気」で取り組んでみてほしいです。									

科目名	トータルビューティー演習								
科目名(英)									
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年								
授業概要	ブライダル美容として、花嫁の美容スケジュールを理解するとともに、衣裳やテーマに合わせたヘアメイク技術をヘアメイク講師より学び技術を習得します。また、和装の種類や着付けを演習授業で学び、技術を習得します。また、模擬結婚式の成功に向けアイテム作成や実践練習に励みます。								
授業形式	講義:		演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				花嫁の美容スケジュールを理解し、お各様に適したタイミングで美容施術をお勧めすることが出来る			
	○	○	○			ブライダルにふさわしいヘアメイク技術を習得しお客様の好みや髪質、肌質に合ったヘアメイクができる			
	○	○				和装の種類や知識を身につけ説明することができる			
		○	○			和装の衣裳や小物の名称や役割を理解し、着付け時に適当に使用することができる			
	○			○		役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる			
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト・ブライダル用語辞典・プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	花嫁の美容スケジュールについて・着物着付けについて(着付けの流れ・準備物)							
	2	和装の種類、意味を学ぶ・留袖、振袖の着付け練習							
	3	留袖、振袖の着付け練習							
	4	模擬結婚式準備①(アイテム作成)							
	5	模擬結婚式準備②(アイテム作成)							
	6	模擬結婚式準備③(アイテム作成)							
	7	模擬結婚式準備④(アイテム作成)							
	8	模擬結婚式準備⑤(実践練習)							
	9	模擬結婚式準備⑥(実践練習)							
	10	模擬結婚式準備⑦(実践練習)							
	11	模擬結婚式準備⑧(実践練習)							
	12	模擬結婚式準備⑨(実践練習)							
	13	模擬結婚式用のヘアメイク練習①							
	14	模擬結婚式用のヘアメイク練習②							
	15	模擬結婚式用のヘアメイク練習③							
評価方法	(1)授業態度は積極的な発言・質問をしているか(2)意欲・努力は指示内容の取り組み方について(3)授業毎の取り組みの報告・連絡や相談を随時行っているか 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	授業態度				◎		100%		
	意欲・努力				◎				
	報告・連絡・相談	◎							
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。								

科目名	バーテンダー									
科目名(英)	Bartender									
単位数	2単位			時間数	30時間		担当者	川平 剛太		
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年生									
授業概要	バーテンダーに必要な酒類の基本的知識を学び、実技講習を通してカクテルの作成技術を習得する。またサービス業に必要な身だしなみ、清潔感、接客のマナーを学ぶ。									
授業形式	講義：△		演習：		実習：		実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				酒類の基本的知識を学び説明することができる				
			○			カクテル作成の技術を身につけ実践することができる				
		○	○			オリジナルカクテルを創造してカクテルコンペで発表することができる				
テキスト・教材 参考図書	プリント (参考図書：新版バーテンダーズマニュアル 柴田書店)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業概要の説明、使用する設備・器具の取り扱い方法の説明								
	2	バーテンダーの業務・接客マナーを身につける & 基本動作の技術実習(身だしなみ・清掃・清潔感)								
	3	酒類概論① & 基本動作の技術実習								
	4	酒類概論② & 基本動作の技術実習								
	5	酒類基本知識① & 基本動作の技術実習								
	6	酒類基本知識②(中間テスト) & 基本動作の技術実習								
	7	酒類基本知識③ & カクテル作成手順の技術実習								
	8	酒類基本知識④ & カクテル作成手順の技術実習								
	9	酒類基本知識⑤ & カクテル作成手順の技術実習(中間審査)								
	10	酒類基本知識⑥(総まとめテスト) & 基本動作の技術実習								
	11	オリジナルカクテル作成 & カクテルコンペの運営手順(役割分担と流れ)								
	12	オリジナルカクテル作成 & カクテルコンペの運営手順								
	13	模擬カクテルコンペ & 技術講習								
	14	カクテルコンペ (オリジナルカクテルと実技審査①)								
15	カクテルコンペ (オリジナルカクテルと実技審査②)									
評価方法	(1)カクテルコンペを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	カクテル作成の技術審査		○	◎			50%			
	オリジナルカクテルの完成度		○	◎			30%			
	酒類についてのテスト結果		◎				20%			
履修上の注意										

科目名	ビジネスマナー						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	宮末 由里子
実施年度	2019年度		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年						
授業概要	実社会での確かな仕事をするため、仕事の基本を身につけ、それを基礎として自分で考え、判断できる力を養う。グループワークを通じて、自分と違った考えの人と意見を交わすことによって、自分の考えを磨いていく。						
授業形式	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		実社会での挨拶、態度、言葉遣いを身につけ実践できる。	
	○			○		電話に出ること、アポイントメントをとることができるようになる。	
		○		○		報告、連絡、ミスの対応ができるようになる。	
		○		○		電話応対、来客応対ができるようになる。	
		○		○		社会人としての自覚を持ち、仕事を的確に行えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	グループワークで学ぶオフィス実務改訂新版(西文社)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、学生と社会人の違い、ホスピタリティマインド				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	お辞儀と挨拶をする、始業時や昼休みの態度を学ぶ				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	お客様に対する言葉遣いをマスターする				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	かかってきた電話に出る、アポイントメントを取る				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	社会人としての自覚を持つ				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	キャンペーン会議の準備をする、伝言メモを作成する				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	顔見知りの来客に出す飲み物、人事異動の秘密を守る				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	(コミュニケーションゲーム)言葉だけで正確に情報を伝える				コミュニケーションゲームに必要な心構えを考えておくこと	
	9	取引先から戻り報告する、電車事故にあい状況を電話で報告する、出先から直接帰宅する				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	ミスの処理、予防				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	外出中の上司への電話、取引先から納品の遅れの苦情電話				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	上司あての書類を預かる、待たせた来客を応接室に案内する				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	不意の来客応対				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	仕事を的確に行う				テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	定期試験(筆記)				定期試験を実施するので、総復習しておくこと	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)ロールプレイングを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				20%
	ロールプレイング				◎		20%
履修上の注意	お客様応対ができる身だしなみで出席すること。(顔にかかる髪はまとめる)						

科目名	ホテルマネジメント②									
科目名(英)										
単位数	1単位			時間数	15時間		担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度			実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年生									
授業概要	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級合格を目標とし過去問題を繰り返し解く。									
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		◎			○	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級 合格				
テキスト・教材 参考図書	ホテルビジネス基礎編 一般社団法人日本ホテル教育センター									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	ホテルビジネス実務検定対策 前期復習問題								
	2	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2015								
	3	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2015解答								
	4	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2016								
	5	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2016解答								
	6	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2017								
	7	ホテルビジネス実務検定対策 過去問2018								
	8	ホテルビジネス実務検定 検定対策問題								
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
評価方法	(1)授業態度は積極的な発言・質問で評価する。(2)定期試験の点数で評価する (3)検定試験の可否にて評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	授業態度					○	○	20%		
	定期試験			○				50%		
	検定試験			○				30%		
履修上の注意										

科目名	English Communication II - (2)							
科目名(英)	English Communication 1							
単位数	2		時間数	30		担当者	Robert Sumner	
実施年度	2019		実施時期	2 nd term		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	Hotel / Bridal 2 nd Grade							
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment.							
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:	
							※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				To learn everyday vocabulary + remember key words		
						Study to give students confidence to express themselves		
			○			Encourage students to speak with confidence + a positive attitude.		
テキスト・教材 参考図書	Person to Person + Worksheets.							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	Summer holiday class survey.						
	2	Could I borrow that?						
	3	Could you change my reservation?						
	4	Likes + Dislikes						
	5	English for Hotel Employees						
	6	Hotel Roleplay.						
	7	Dealing with Tourists						
	8	Problems + Complaints						
	9	Hotel Dialogues						
	10	Which city did you like better?						
	11	What are you going to do?						
	12	Discussing Goals						
	13	Review Key Vocabulary						
	14	Test Preparation						
15	End of term test.							
評価方法	定期試験		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト		○	○				50
	宿題・レポート							
	発表・作品							
	態度・意欲					○		50
履修上の注意								

科目名	ENGLISH Communication II - (2)						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	Colin Carmichael		
実施年度	2019	実施時期	2ND TERM	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	HOTEL BRIDAL 2ND Year TERM 2						
授業概要	English conversation with foreign guests Everyday English How to use English well in conversation						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他 目標		
	○				Talking with guests		
		○			Everyday English		
	○				Conversation English		
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Talking about Summer Vacation Review,					
	2	Review of previous term lessons.					
	3	Person to Person Unit 5 continued,					
	4	Person to Person Unit 6					
	5	Passport travel English Unit 7					
	6	Passport travel English Unit 8					
	7	Passport travel English Unit 9					
	8	Person to Person Unit 6 contin.					
	9	Person to Person Unit 7					
	10	Person to Person Unit 8					
	11	Passport travel English Unit 10					
	12	Passport travel English Unit 11					
	13	Passport travel English Unit 12					
	14	Review of all lessons					
	15	Test.					
評価方法							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○		50%
履修上の注意							